

# NHO埼玉病院の災害対策

独立行政法人 国立病院機構 埼玉病院



# NHO埼玉病院の概要

所在地	埼玉県和光市（人口 約8.6万人）
診療圏	【埼玉県】和光市、朝霞市、新座市、志木市 ふじみ野市、富士見市、三芳町 【東京都】練馬区、板橋区
病床数	550床
標榜診療科	35診療科
職員数	約1,200人
入院患者数	466人（2025年度1日平均）
外来患者数	992人（2025年度1日平均）
沿革	2012年11月 地域災害拠点病院 2014年10月 地域周産期母子医療センター 2021年 5月 救命救急センター



# 施設情報（ライフライン等）

自家発電	: 2基（1000kVA、1200kVA）	燃料：A重油LSA
コージェネレーションシステム	: 368kVA	
受水槽	: 2台（110m <sup>3</sup> 、58m <sup>3</sup> ）	
液体酸素タンク	: 224m <sup>3</sup>	
ガス供給	: 都市ガス （止水版等設置無し）	
ヘリポート	: 新座防災基地内ヘリポート	

# 災害への備え

埼玉病院は、幸いにも浸水想定区域や土砂災害（特別）警戒区域には該当しませんが、万が一の災害に備え、以下の対策を行っています。

食糧の備蓄：3日分（牛丼、煮込みハンバーグ&ライス、レトルトパン等）

水の備蓄：3日分

薬の備蓄：3日分

発電設備：3日分（※通常診療の6割程度）

# 災害訓練

埼玉病院で毎年実施している災害訓練には、多くの関係機関が参加しており、今年度（5月30日（土）開催）は、朝霞保健所、日本DMAT、地域DMAT、薬剤師会等が参加されます。

外部の目で評価していただき、新たな問題点・改善点を発見することが、埼玉病院のさらなる成長へ繋がりますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。



# ご紹介

埼玉病院では、災害時に職員の安否を確認するため、安否確認システム「安否コール」を導入しています。

迅速な災害復旧に繋げることを目的に導入し、携帯電話等から埼玉病院への安否連絡を簡単に行うことができます。

入職時にアプリのインストールを依頼し、現在はほぼ全ての職員が使用しています。

毎月実施している訓練には多くの職員が参加しており、災害に対する意識付けに繋がっています。

